

第72回 FM桐生番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成30年7月9日（月曜日）
- 2 開催場所 桐生ガスプラザ3階会議室
- 3 委員出席 5名
委員総数 8名
出席委員数 6名
出席委員の氏名 宝田恭之、小山貴之、中村昌也、飯野マリエ、星野尚香、
欠席委員の氏名 豊田れい子、茂木理享、岡野紀子
放送事業者側出席者名 坂田道信
- 4 議 題 「聴取番組について委員からの意見と提案」
- 5 議事の概要
開会
挨拶
資料配布物の確認・次第・次回の試聴番組CD → 「kira☆ままタイム」毎週木曜日 14:15～14:29
報告事項
 - ・ FM公式アプリ 4,567DL
 - ・ 環境省補助事業「COOL CHOICE」採択7月～
 - ・ 桐生八木節まつり特別編成

次回開催日程 平成30年9月14日（金）19:30～

- 6 審議内容
 - ・ 放送日時 毎週土曜日 12:00～12:29
 - ・ 番組名「RaRaRadio by 共感ラボ」
 - ・ 出演者：共感ラボ一期生
 - ・ 番組の内容「共感をキーワードにしたメディア活動「共感ラボ」メンバーによる番組」

聴取番組について、委員からの意見

【委員】

1. ハキハキとして聞き取りやすいが、カリグラファーについての説明が無いまま進化した。
もう少し丁寧に説明して欲しい。ゲストのリクエスト曲についてもっと広げて欲しかった。
2. 若者言葉だからか、用語の意味がわからない。自分達だけでわかっているのは良くない。
運転しながらは聞けない。最後の曲は気に入った。
3. 前半は聞きやすかったが、用語の説明がなく内容がわかりにくい。日本語に置きかえる等の工夫を。
4. 内容は悪くないので、話の順番等の組み立て方を考えて欲しい。公共を意識してわかりやすくすべき。
5. 丁寧に作られている番組で感心した。女子感が満載で好感が持てる。
ぎこちない語り口も一所懸命さの表れで応援したくなる。
カリグラフィーの魅力について伝えたかったのだと思うが、何故プロになろうと思ったのか、
本人にとってどんな内的存在なのかなど個人的には知りたかった。
また、ホームページのアナウンスが聞き取りにくかったので、繰り返して欲しかった。

回答：昨年度、FM桐生を中心に開催した「MC&ラジオパーソナリティ養成講座」の第一期受講生が制作する番組。ディレクションから出演までが受講生の為、まだ未完成な部分が多い。
頂いたご意見を参考に、よりわかりやすい番組を目指したい。

委員より提案事項について

1. 6/17（日）に群馬県南部を震源とする地震があったが、防災ラジオは起動せず、情報も無かった。一番欲しい情報が聞けなかったのは残念だ。

回答：当日は日曜日で、局は休みで生放送も無かった。平日で局員が居れば対応している。防災ラジオの自動起動及び災害時対応は桐生市で震度5弱以上としている。当日の地震は該当せず、緊急時体制は取らなかった。しかし、担当課とは連絡を取り、市内に被害がない事を確認し待機した。災害は、深夜・休日を問わず発生し、一旦発災すると長期化する。アナウンサーのローテーションにも限界があるので、他のコミュニティ放送が開発したAIアナウンサー等の活用を研究している。

2. サテライトスタジオが出来て、パーソナリティの顔が見られる様になったが、もう少し外の方とコミュニケーションを取ってはどうか？

回答：サテライトスタジオで放送している番組は、主にワンマンスタイルが多く、原稿読み上げ等の際はそこまで余裕が無い。オペレーターが別で、ゲストとのトークの際であれば対応も可能かと思う。今後は外の様子も意識していきたい。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 事務所への備置き、自社ホームページ<http://www.fmkiryu.jp/>へ掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

8 その他参考事項 特になし

以 上